

名岐道路の早期事業化に関する

要 望 書



名岐道路整備促進期成同盟会

名古屋商工会議所

一宮商工会議所

岐阜商工会議所

各務原商工会議所

岐南町商工会

笠松町商工会

尾西町商工会

木曾川商工会

一般社団法人中部経済連合会

名岐道路の早期事業化に関する要望

尾張地域、岐阜地域には、航空宇宙産業などの先端ものづくり産業や伝統的な地場産業が集積し、地域の発展に大きく寄与しております。

さらに、この中部経済圏は、2027年のリニア中央新幹線開業により、新しい時代を開く中京大都市圏として一層の発展が求められています。

一方、日本の大動脈である名神高速道路を始め、東海北陸自動車道、国道22号等で発生する慢性的な渋滞が日本経済に与える損失は大きく、効率的な物流ネットワークの構築が喫緊の課題となっております。

現在、我が国は人口減少時代を迎えていますが、日本経済の持続的な成長を実現するには、道路ネットワークを構築・強化することで渋滞を解消し、生産性の向上による国際競争力の強化や、リニア効果による国内外との多様な交流・連携を図る事が重要となります。

また、南海トラフ巨大地震への防災対策には、代替性・多重性を確保した道路ネットワークの強化による、地域を越えたサプライチェーンの構築など、国土の強靱化が重要な課題であります。

尾張地域の渋滞対策については、愛知県交通渋滞対策推進協議会の一宮エリア渋滞対策推進ワーキング部会を設立し、地域が一体となって、短・中期的な対策の検討をすすめています。

しかしながら、地域の抱える課題を抜本的に解決するためには、名岐道路の早期整備が必要不可欠であると考えます。

つきましては、次の事項について格別のご配慮を賜わりますようお願い申し上げます。

記

- 1 国際ゲートウェイと直結し、地域経済の好循環をはかり、企業進出や観光客の増加、さらには災害に対する安全・安心の地域づくりなど多くのストック効果、生産性の向上を高める、名岐道路について早期事業化を図ること。
- 2 強靱な国土をつくり、豊かで活力ある地域社会の実現に向け、地域が真に必要なとする道路整備が着実に実施できるよう、道路関係予算の確実な確保を図ること。

平成29年1月11日

| | | |
|-------------------|----|--------------|
| 名岐道路 整備促進期成同盟会 | 会長 | 一宮市長 中野正康 |
| 名古屋商工会議所 | 会頭 | 山本亜土 |
| 一宮商工会議所 | 会頭 | 豊島半七 |
| 岐阜商工会議所 | 会頭 | 村瀬幸雄 |
| 各務原商工会議所 | 会頭 | 柳原幸一 |
| 岐南町商工会 | 会長 | 黒田隆 |
| 笠松町商工会 | 会長 | 岡田悠子 |
| 尾西商工会 | 会長 | 小笠原勝博 |
| 木曾川商工会 | 会長 | 五藤政尋 |
| 一般社団法人 中部経済連合会 | 会長 | 豊田鐵郎 |

名岐道路整備促進期成同盟会

| | | |
|-------|-----------|---------|
| 会 長 | 一 宮 市 長 | 中 野 正 康 |
| 副 会 長 | 岐 阜 市 長 | 細 江 茂 光 |
| 常任理事 | 各 務 原 市 長 | 浅 野 健 司 |
| 監 事 | 岐 南 町 長 | 松 原 秀 安 |
| 監 事 | 笠 松 町 長 | 広 江 正 明 |
| 理 事 | 一宮市議会議長 | 渡 辺 之 良 |
| 理 事 | 岐阜市議会議長 | 杉 山 利 夫 |
| 理 事 | 各務原市議会議長 | 古 田 澄 信 |
| 理 事 | 岐南町議会議長 | 伊 藤 勝 利 |
| 理 事 | 笠松町議会議長 | 岡 田 文 雄 |

地域高規格道路 名岐道路の事業推進

～名古屋圏域と岐阜圏域をつなぎ、都市間連携、地域経済に好循環をもたらす地域期待の道路～

名岐道路の整備(ストック効果)

高速道路ネットワークの整備・強靱な国土の形成

代替性・多重性の確保、信頼性の高い道路ネットワークが整備され、強靱な国土形成が図られ、生産・物流機能や空港、港湾等の選別・交流機能を強化します。

ものづくりの躍進(航空宇宙産業等)

広域交通・物流の効率化、サプライチェーンの確保

国際競争力アップ、空港・港湾のゲートウェイ化

リニアインパクトの活用

リニア中央新幹線の経済波及効果を中部圏に拡大し、産業・観光など日本経済をけん引します。

中京大都市圏の実現

インバウンドの増加、昇龍道プロジェクト支援による
観光立国の実現

「東名・名神」「東海北陸」のボトルネックの解消

東京、名古屋、大阪を結ぶ日本の大動脈「東名・名神高速道路」及び「東海北陸自動車道」のボトルネック区間(一宮IC～愛知・岐阜県境、一宮JCTから一宮西IC)を解消し、地域の大動脈である国道22号の渋滞を解消します。

輸送効率化、時間・エネルギーロスの解消

岐阜・名古屋間所要時間の大幅短縮(約4割)

